

日本や倉敷市の取り組みを知ろう

解説 ※9

世界共通の目標は、地球温暖化の影響を止めるために2015年11月~12月にフランスのパリで開催された国際会議で決められました。この会議の中で結んだ協定を、「パリ協定」と呼びます。

ステップアップ④

COOL CHOICEの取り組み

(例)



ゴミを減らそう
・食べ物を残さず食べよう
・服を大切にしよう



自転車に乗ろう



マイバッグを使おう

日本はどんな取り組みをしているの？

地球温暖化を止めるため、日本では2020年10月に、**2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指す**ことが宣言されました。

カーボンニュートラルってなに？

カーボンニュートラルとは、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いてゼロにすることです。

$$\text{排出量} - \text{吸収量} = \text{ゼロ}$$



カーボンニュートラルを実現することは、世界共通の目標なんだよ。(※9)

日本は、2030年度までに2013年度と比べて**46%温室効果ガスを削減**することを目標としているんだ。



COOL CHOICE (クールチョイス)

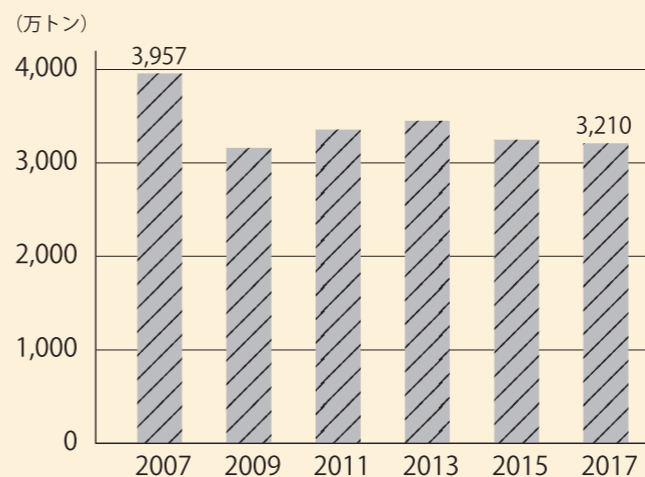
COOL CHOICE (クールチョイス) とは、「かしこい (COOL) 選択 (CHOICE)」のことで、二酸化炭素の排出を減らすために、国全体で取り組んでいる運動です。みんなが普段の生活の中で、二酸化炭素の排出を減らすような「かしこい選択」を心掛けることで、未来の地球が変わります。



倉敷市はどんな取り組みをしているの？

倉敷市では、2021年6月に、温室効果ガスの排出削減に積極的に取り組んでいくため、2050年までにカーボンニュートラルを目指す「**ゼロカーボンシティ**」にチャレンジすることを表明しました。(※10)

倉敷市における温室効果ガス排出量の推移



倉敷市の温室効果ガス排出量は、少しずつ減少しています。(※11) 日本有数の工業地帯である水島コンビナートがあることから、倉敷市の排出量の約80%以上が産業部門という特徴があります。水島コンビナートの企業では、温室効果ガスの排出を減らす取り組みを行っており、さらに、その製品と技術は全国の温室効果ガスの低減にも貢献しています。

倉敷市では、二酸化炭素の排出削減に向けて様々なことに取り組んでいます。(※12)

二酸化炭素の排出を減らす取り組み



太陽光発電



電気自動車 (EV)



燃料電池自動車 (FCV)

省エネの取り組み



緑のカーテン

地球温暖化対策を知ってもらう取り組み



環境フェスティバル



グリーンくらしきエコアクション

解説 ※10

ゼロカーボンシティとは、カーボンニュートラルに向けて、2050年二酸化炭素排出実質ゼロに取り組むことを表明した自治体のことです。

解説 ※11

倉敷市の温室効果ガス排出量は、日本全体の約2.5%でとても多くの温室効果ガスを排出しています。

参考：温室効果ガスイベントリポート

解説 ※12

電気自動車は、ガソリン車に比べて二酸化炭素の排出が少ない車です。さらに、電気自動車の燃料を太陽光発電で発電した電気になると、二酸化炭素を出さない車となります。

グリーンくらしきエコアクションは、家庭でできる地球温暖化対策をまとめた冊子です。

グリーンくらしきエコアクション [検索](#)